

9 衛生施設

(1) 施設一覧

施設名	所在地	基本的な方針	
		現状	方針
クリーンセンター	西浦町口田土1	存続	焼却設備：広域化時期まで適切に維持 その他建物：計画的に修繕を行い、長期維持
リサイクルプラザ	西浦町口田土1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
一般廃棄物最終処分場	大塚町斧磨 57-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持
一色不燃物最終処分場	一色町下手張 10-1	存続	計画的に修繕を行い、長期にわたって維持

(2) 基本的な方針の考え方

- ・クリーンセンターは市内で発生した可燃ごみを処理する施設ですが、今後焼却施設の広域化が予定されています。そのため焼却施設については広域化時期まで、それ以外の施設については広域化後も長期にわたって使用できるよう計画的に修繕を行います。
- ・リサイクルプラザは粗大ごみ、資源物等を処理する施設であり、計画的に建物修繕や、設備更新を行い、長期にわたって維持します。
- ・一色不燃物最終処分場及び一般廃棄物最終処分場は、埋め立て自体は完了もしくは約10年で完了する予定ですが、その後も浸水液の処理等引き続き施設を管理する必要があるため、計画的に修繕を行い長期にわたって維持します。

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	環境清掃課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	クリーンセンター	所在地	西浦町口田土1
施設コード	249	施設面積	7,138.5㎡
土地所有状況	市有地：24,467.12㎡ 借地：4,353.81㎡	建設年	平成9年
構造・階数	鉄筋コンクリート造・4階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	3.0	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>市内で発生した一般廃棄物のうち、可燃ごみを処理する施設であり、施設の運転管理は委託している。稼働から20年以上が経過しているため、全体的に老朽化が進んでいるが、特に工場棟内部の焼却設備に関しては優先順位を付けて修繕を行っているものの、修繕が追いついていない状態である。焼却設備の広域化の計画があり、広域化まで延命化をしていく計画としている。広域化により設備が不要になるのが、工場棟及び汚泥供給設備であり、他の建物については広域化後も存続していくため、計画的に修繕を行い、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>東三河地域広域化ブロック会では令和13年度までの計画となっており、それ以降は広域化になる可能性があるが、具体的な年度や場所については決定していない。</p>	
目標使用年数	34年及び80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>建物躯体については必要に応じて修繕を実施してきており、機能に支障が生じるようなことはないが、焼却設備の老朽化が著しく、突発的な故障も発生している。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>広域化により焼却設備は不要となるが、余熱を利用している館内の空調や給湯、貯水槽、排水処理及び自家用電気工作物等、工場棟が中心となり、他の建物を稼働させているものが多数あり、焼却設備の機能が停止する際に大規模な改修工事が必要となる可能性がある。</p>	

衛生施設

4. 維持・管理実施方針

稼働後20年以上が経過しているため、広域化まで稼働させるためには、大規模な延命化工事が必要になる可能性がある。現在の予定では少なくとも令和13年度までは稼働させる計画となっているため、焼却施設の関連については令和13年度を最終年度と設定した。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度	工場棟修繕、計量棟改修	280,566	焼却設備、計量システム
令和4年度	工場棟修繕	521,474	焼却設備延命化工事
令和5年度	工場棟改修工事	1,509,365	焼却設備延命化工事
令和6年度	工場棟改修工事	2,426,825	焼却設備延命化工事
令和7年度	工場棟修繕、全館外壁修繕	326,969	焼却設備
令和8年度	工場棟修繕	295,724	焼却設備
令和9年度	工場棟修繕	314,743	焼却設備
令和10年度	工場棟修繕、全館改修工事	409,933	焼却設備、建具、空調、衛生、搬送設備
令和11年度	工場棟修繕	272,558	焼却設備
令和12年度	工場棟修繕	307,879	焼却設備
令和13年度	工場棟修繕	303,303	焼却設備
令和14年度	工場棟改修工事+解体工事	2,407,000	焼却施設改造費+解体費
令和15年度			
令和16年度	計量棟修繕	5,120	トラックスケール
令和17年度			
令和18年度			
令和19年度			
令和20年度			
令和21年度	全館大規模改修工事	273,599	
令和22年度			
令和23年度			
令和24年度	全館修繕	8,762	空調、搬送設備
令和25年度			
令和26年度			
令和27年度			
令和28年度			
合 計		9,663,820	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	59,799	64,746	61,973	
運用コスト	103,672	102,038	103,077	
修繕コスト	149,031	183,401	173,250	
その他	40,432	39,371	40,793	
合計	352,934	389,556	379,093	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入	80,993	78,988	71,226	

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	環境清掃課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	リサイクルプラザ	所在地	西浦町口田土1
施設コード	250	施設面積	3,264.84㎡
土地所有状況	市有地 (クリーンセンター敷地に立地)	建設年	平成12年
構造・階数	鉄骨造・3階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	2.6	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>市内で発生した一般廃棄物のうち、粗大ごみ、資源物等処理する施設であり、施設の運転管理は委託している。建物の躯体部分については、目立って老朽化が進んでいるということはなく、ある程度良好な状態であるが、リサイクルプラザ棟内部の資源化設備については老朽化が進んでいる。焼却設備は広域化の計画があるが、資源化設備は今後も維持していかなければならないため、計画的に設備等の修繕を実施し、長期にわたって維持する。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
なし	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>一部、雨漏りが発生している箇所があるが、建物躯体については全体的に良好である。稼働から約20年が経過しており、内部の資源化設備については老朽化が進んでおり、優先順位を付け、メンテナンスを実施してきているが、今後は費用が増加してくることが考えられる。</p>
【中・長期的課題】
<p>粗大ごみを破砕した後に発生した可燃物については、コンベアで焼却施設の可燃ピットに搬送し、焼却をしているが、広域化により焼却施設がなくなった場合は、破砕後の可燃物の処理方法について検討する必要がある、それに伴い改修工事が発生する可能性がある。</p>

衛生施設

4. 維持・管理実施方針

焼却施設が広域化によりなくなった後も、資源化施設は継続して維持をしていくため使用目標を80年とし、今後も優先順位を付け、メンテナンスを実施していく。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度	リサイクルプラザ棟修繕	83,226	資源化設備
令和4年度	リサイクルプラザ棟修繕	28,050	資源化設備
令和5年度	リサイクルプラザ棟修繕	81,510	資源化設備
令和6年度	リサイクルプラザ棟修繕	85,800	資源化設備
令和7年度	全館修繕	88,944	資源化設備、外壁
令和8年度	リサイクルプラザ棟修繕	78,650	資源化設備
令和9年度	リサイクルプラザ棟修繕	67,210	資源化設備
令和10年度	リサイクルプラザ棟修繕	84,370	資源化設備
令和11年度	リサイクルプラザ棟修繕	60,060	資源化設備
令和12年度	全館大規模修繕	212,526	資源化設備、屋上防水、空調、衛生、搬送設備
令和13年度	リサイクルプラザ棟修繕	170,957	資源化設備、可燃物搬出施設設置
令和14年度	リサイクルプラザ棟修繕	60,060	資源化設備
令和15年度	リサイクルプラザ棟修繕	95,810	資源化設備
令和16年度	リサイクルプラザ棟修繕	121,550	資源化設備
令和17年度	リサイクルプラザ棟修繕	71,500	資源化設備
令和18年度	リサイクルプラザ棟修繕	78,650	資源化設備
令和19年度	リサイクルプラザ棟修繕	120,120	資源化設備
令和20年度	リサイクルプラザ棟修繕	87,230	資源化設備
令和21年度	リサイクルプラザ棟修繕	95,810	資源化設備
令和22年度	全館大規模改修工事	583,082	築後40年
令和23年度	リサイクルプラザ棟修繕	64,350	資源化設備
令和24年度	リサイクルプラザ棟修繕	74,360	資源化設備
令和25年度	リサイクルプラザ棟修繕	105,820	資源化設備
令和26年度	リサイクルプラザ棟修繕	80,080	資源化設備
令和27年度	リサイクルプラザ棟修繕	58,630	資源化設備
令和28年度	リサイクルプラザ棟修繕	109,876	資源化設備、空調、搬送設備
合計		2,848,231	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	68,729	66,968	69,899	
運用コスト	5,469	5,467	5,503	
修繕コスト	9,366	13,547	20,506	
その他	2,606	1,499	776	
合計	86,170	87,481	96,684	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	環境清掃課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	一般廃棄物最終処分場	所在地	大塚町斧磨57-1
施設コード	251	施設面積	917.59㎡
土地所有状況	市有地：23,287.67㎡ 借地：333.39㎡	建設年	平成12年
構造・階数	鉄骨造・2階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	2.7	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>処分場としては現状の年間埋立量で計算すると、約10年で埋立てが完了する予定だが、埋立完了後も水処理を行っていく必要があるため、施設は維持管理をしていく。機械棟は運転管理を委託している。建物の躯体部分については、目立って老朽化が進んでいるということはなく、ある程度良好な状態である。機械棟内部の水処理設備については老朽化が進んでいるが、計画的に修繕維持を実施している。今後も計画的に修繕を行うことで、長期にわたって維持していく。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
なし	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】
<p>建物躯体については全体的に良好である。稼働から約20年が経過しており、機械棟内部の水処理設備については老朽化が進んでいる。優先順位を付け、メンテナンスを実施してきており、今後も同様の形でメンテナンスを継続していく。</p>
【中・長期的課題】
<p>処分場の埋立が完了した後、水処理設備を稼働させなくても水質が基準を満たしている状態であれば、水処理設備の必要性もなくなるが、どの程度の期間が経過すればその状態になるのか不透明であり、施設をいつまで維持していく必要があるのか見通しが立ちづらい部分がある。</p>

衛生施設

4. 維持・管理実施方針

建物躯体については全体的に良好である。機械棟内部の水処理設備については老朽化が進んでいるが、優先順位を付けメンテナンスを実施してきており、今後も同様の形でメンテナンスを継続していく。水処理をいつまで行っていくのか見通しが立ちづらい状況があるため、使用目標を80年とした。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度	機械棟修繕	11,912	水処理設備
令和4年度	機械棟修繕	23,295	最終処分場整備
令和5年度	機械棟修繕	25,669	水処理設備、最終処分場整備
令和6年度	機械棟修繕	38,239	水処理設備、最終処分場整備
令和7年度	機械棟修繕	43,615	水処理設備、最終処分場整備
令和8年度	機械棟修繕	24,453	水処理設備
令和9年度	機械棟修繕	14,572	水処理設備
令和10年度	機械棟修繕	12,098	水処理設備
令和11年度	機械棟修繕	33,534	水処理設備、最終処分場法面整備
令和12年度	全館改修工事	55,279	
令和13年度	機械棟修繕	21,593	水処理設備
令和14年度	機械棟修繕	12,799	水処理設備
令和15年度	機械棟修繕	14,029	水処理設備
令和16年度	機械棟修繕	10,111	水処理設備
令和17年度	機械棟修繕	17,146	水処理設備
令和18年度	機械棟修繕	19,377	水処理設備
令和19年度	機械棟修繕	11,326	水処理設備
令和20年度	機械棟修繕	8,280	水処理設備
令和21年度	機械棟修繕	17,875	水処理設備
令和22年度	全館大規模改修工事	13,943	築後40年
令和23年度	機械棟修繕	151,720	水処理設備
令和24年度	機械棟修繕	17,732	水処理設備
令和25年度	機械棟修繕	18,076	水処理設備
令和26年度	機械棟修繕	21,665	水処理設備
令和27年度	機械棟、管理事務室修繕	34,186	水処理設備、空調設備
令和28年度	機械棟修繕	20,135	水処理設備
合計		692,659	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	8,417	7,554	8,837	
運用コスト	5,235	6,504	6,144	
修繕コスト	15,547	7,362	10,136	
その他	4,035	5,572	6,584	
合計	33,234	26,992	31,701	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入				

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				

個別施設計画個票

更新日 令和4年3月1日

所管課名	環境清掃課
------	-------

1. 施設の概要

施設名称	一色不燃物最終処分場	所在地	一色町下手張10-1
施設コード	248	施設面積	266㎡
土地所有状況	市有地：7,450.53㎡ 借地：74,120.33㎡	建設年	昭和58年
構造・階数	鉄骨造・1階	耐震化状況	耐震性能あり
避難所指定の有無	無	管理者	市管理
施設老朽化度	4.1	特記事項	

2. 管理に関する基本的な方針

基本的な方針	存続
【基本方針の説明】	
<p>廃棄物処分場としては埋立が完了しており、廃止までの安定期間となっている。現在は埋立地外で市内で発生する草木の破碎処理を行っており、市民が草木を直接搬入している。管理棟と倉庫棟があり、年数が経過しており全体的に老朽化が進んでいるため、計画的に修繕を実施していく必要がある。</p>	
【施設維持方針に関する検討履歴】	
<p>埋立地については跡地利用検討会議が実施されているが、破碎処理は埋立地外で運営されており、施設維持方針に関して検討は行われていない。</p>	
目標使用年数	80年

3. 管理に関する課題

【短期的課題】	
<p>管理棟、倉庫棟ともに、老朽化が進んでおり、特に建具の老朽化が著しく、修繕の優先順位が高いと考えられる。管理棟、倉庫棟とも一般市民が利用する建物ではなく、基本的にはメンテナンスに費用を掛けることができていないのが現状である。</p>	
【中・長期的課題】	
<p>草木の堆肥化施設の検討や、焼却炉の広域化が実施された際に草木の破碎作業が不要になる可能性もあり、草木の破碎業務をいつまで実施するか不透明な部分がある。</p>	

衛生施設

4. 維持・管理実施方針

現状としては将来の方向性が不透明なため、現在の業務が今後も継続されていくとして計画を立てている。現在の建物は市民が直接利用することがないため、必要最低限の維持修繕に留まっている。管理棟と倉庫棟の建設年度が違うが、倉庫棟の老朽化も進んでいるため、管理棟が建設から80年が経過するR44のタイミングで倉庫棟も併せて建替えをする計画とした。

【目標使用期限までに必要となる維持保全工事】

年度	維持保全工事内容	概算額（千円）	備考
令和3年度	倉庫棟修繕	501	トラックスケール
令和4年度	管理棟改修工事	3,581	外壁、扉
令和5年度	管理棟修繕	501	トラックスケール
令和6年度			
令和7年度	管理棟修繕	9,335	トラックスケール
令和8年度			
令和9年度	管理棟修繕	501	空調、トラックスケール
令和10年度			
令和11年度	管理棟修繕	501	トラックスケール
令和12年度	倉庫棟改修工事	22,683	
令和13年度	管理棟改修工事	2,183	外壁、トラックスケール
令和14年度			
令和15年度	管理棟修繕	4,791	トラックスケール
令和16年度			
令和17年度	管理棟修繕	501	トラックスケール
令和18年度			
令和19年度	管理棟修繕	501	トラックスケール
令和20年度			
令和21年度	管理棟修繕	501	トラックスケール
令和22年度			
令和23年度	倉庫棟修繕	1,003	外壁、トラックスケール
令和24年度	管理棟修繕	6,224	
令和25年度	管理棟修繕	501	トラックスケール
令和26年度			
令和27年度	管理棟修繕	501	トラックスケール
令和28年度	倉庫棟修繕	1,598	建具、シャッター
合 計		55,907	

（参考：維持管理経費等の状況）

【千円】

【支出】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
保守コスト	1,294	1,427	1,464	
運用コスト	20,694	21,169	20,651	
修繕コスト	1,318	951	217	
その他	141	79	137	
合計	23,447	23,626	22,469	

【千円】

【収入】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用料等収入	12,711	13,573	13,540	

【人】

【利用者等】	平成29年	平成30年	令和元年度	備考
利用者数				